

# 参 考 资 料

## 1. 企業型確定拠出年金における個人拠出の容認関係

### 参考1-1. 全体の掛金の状況

- 企業型確定拠出年金については、他の企業年金制度と異なり、厚生年金基金の望ましい水準（公的年金と厚生年金基金の給付とを併せ、退職前所得の6割程度を確保する水準）を勘案した拠出限度額が設定されているとともに、本人拠出は認められていない。
- 現在の掛金の状況は、他の企業年金がない場合の拠出限度額4.6万円に対して約1.2万円、他の企業年金がある場合の拠出限度額2.3万円に対して約9千円、全体の平均では約1.1万円となっている。

全体平均掛金額	11,217円
他の企業年金なし(拠出限度額 46,000円)	12,833円
他の企業年金あり(拠出限度額 23,000円)	9,091円

(厚生労働省調べ(平成18年3月現在))

## 参考1-2. 年齢別の掛金分布の状況

- 掛金の分布を見ると、拠出限度額まで掛金が拠出されているのは、他の企業年金なしで4.9%、他の企業年金ありで3.8%にすぎない。
- また、掛金の分布を年齢別にみると、30歳以下で、1万円以下の掛金(月額)の者の割合は、他の企業年金なしで75.6%、他の企業年金ありで92.1%となっているなど、若年層ほど掛金が低くなっている。これは、掛金の設定方法が、通常、給与に対する定率となっているためであると考えられる。

○他の企業年金なし(拠出限度額 46,000円)

年齢	5,000円以下	~10,000円以下	~20,000円以下	~30,000円以下	~40,000円以下	~45,999円以下	46,000円	合計
合計	146,370人 (22.3%)	169,497人 (25.8%)	172,676人 (26.3%)	82,160人 (12.5%)	39,812人 (6.1%)	14,581人 (2.2%)	32,120人 (4.9%)	657,216人 (100.0%)
~30歳	69,019人 (41.6%)	56,366人 (34.0%)	30,300人 (18.3%)	7,137人 (4.3%)	1,242人 (0.7%)	654人 (0.4%)	1,073人 (0.6%)	165,791人 (100.0%)
31歳~40歳	42,082人 (18.7%)	59,943人 (26.6%)	69,143人 (30.7%)	29,987人 (13.3%)	12,344人 (5.5%)	3,946人 (1.8%)	7,980人 (3.5%)	225,425人 (100.0%)
41歳~50歳	19,401人 (11.8%)	32,407人 (19.7%)	46,441人 (28.3%)	27,574人 (16.8%)	16,123人 (9.8%)	6,762人 (4.1%)	15,458人 (9.4%)	164,166人 (100.0%)
51歳~	15,868人 (15.6%)	20,781人 (20.4%)	26,792人 (26.3%)	17,462人 (17.1%)	10,103人 (9.9%)	3,219人 (3.2%)	7,609人 (7.5%)	101,834人 (100.0%)

○他の企業年金あり(拠出限度額 23,000円)

年齢	5,000円以下	~10,000円以下	~20,000円以下	~22,999円以下	23,000円	合計
合計	431,934人 (30.1%)	536,815人 (37.5%)	382,066人 (26.7%)	27,673人 (1.9%)	54,318人 (3.8%)	1,432,806人 (100.0%)
21歳~30歳	188,142人 (64.5%)	80,489人 (27.6%)	20,363人 (7.0%)	466人 (0.2%)	2,174人 (0.7%)	291,634人 (100.0%)
31歳~40歳	152,686人 (29.8%)	222,588人 (43.4%)	121,389人 (23.7%)	4,775人 (0.9%)	11,227人 (2.2%)	512,665人 (100.0%)
41歳~50歳	57,026人 (13.8%)	156,205人 (37.7%)	159,597人 (38.5%)	14,419人 (3.5%)	27,123人 (6.5%)	414,370人 (100.0%)
51歳~	34,080人 (15.9%)	77,533人 (36.2%)	80,717人 (37.7%)	8,013人 (3.7%)	13,794人 (6.4%)	214,137人 (100.0%)

(厚生労働省調べ(平成19年3月現在))